

第5学年 単元名 物語のおもしろさを考えて読み味わい、物語紹介のショーウィンドウを作ろう
 教材名 「注文の多い料理店」 宮沢賢治（東京書籍 小学校5年下）

研究主題 自分の考えをもち、豊かに表現する子の育成
 ～国語科・算数科の伝え合う活動を通して～

高学年分科会 目指す児童像

- ・叙述や経験、既習内容を基にして、根拠を明らかにしながら多様な考えをもつ子
- ・自分の考えを、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道立てて表現したり、説明したりする子
- ・友達の考えを受け止め、よりよい考えを生み出す子

日時 平成26年10月28日(火) 第5校時
 指導者 伊藤 桂子（5-1 28名）
 宮尾 東（5-2 29名）

1 単元の指導目標

- 物語に興味をもち、おもしろさや表現の工夫を探しながら読もうとする。【関心・意欲・態度】
- 構成や表現の工夫に目を向けて、物語のおもしろさを読み味わい、ショーウィンドウにまとめることができる。【読むこと】
- 物語のおもしろさについて伝え合い、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。【読むこと】
- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

2 指導計画と評価規準（12時間扱い）

<・ショーウィンドウ①は「注文の多い料理店」の紹介文 ・ショーウィンドウ②は読書月間で読んだ作品の紹介文>

次	時	主な学習活動	評価規準	★言語活動とのつながり
0		・読書月間 ・関連図書の中から本を選んで読む。	【関】物語に興味をもち、おもしろさを探しながら読もうとしている。	★ショーウィンドウ②作成へ意欲を高める。
一	1	・教材のねらいを確かめる。 ・物語を読み、初発の感想を交流する。 ・「ショーウィンドウ」を作って、物語を紹介することを学ぶ。	【関】物語に興味をもち、おもしろさや表現の工夫を探しながら読もうとしている。	★ショーウィンドウ①の原型を作る。
	2	・登場人物の確認をする。 ・「注文の多い料理店」という題名について考える。	【言】優れた情景描写における語句の使い方に着目している。	★題名や作者、登場人物をショーウィンドウ①書き込む。
二	3	・物語を「設定」「展開」「山場」「結末」の4場面に分け、構成を捉える。 ・どこからどこまでが「ふしぎな世界」に当たるかを確かめる。 ・物語の内容の大体を確かめる。	【読】出来事を押さえ、物語の構成を捉えている。	★物語を一文で表すとどのようなになるか考え、ショーウィンドウ①に書き込む。
	4	・「設定」の場面を読み、二人の紳士の人物像を読み取る。	【読】物語全体の状況説明を読み取っている。	★「設定」のおもしろさをショーウィンドウ①に書き込む。
	5	・「展開」の場面を読み、展開のおもしろさを見つけ出す。	【読】物語の構成や表現のおもしろさに気付いている。	★「展開」のおもしろさをショーウィンドウ①に書き込む。
	6	・「山場」の場面を読み、紳士の心情の変化とおもしろさについて交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。	【読】二人の紳士の心情の変化と、そのおもしろさを捉え、伝え合いを通して考えを深めている。	★「山場」のおもしろさをショーウィンドウ①に書き込む。
	7	・「結末」の場面を読み、二人の紳士の変化とおもしろさを捉える。	【読】二人の紳士の変化と、そのおもしろさを捉えている。	★「結末」のおもしろさをショーウィンドウ①に書き込む。
	8	・物語のおもしろさについて、ショーウィンドウ①を使って交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。	【読】物語のおもしろさについて、伝え合いを通して考えを深めている。	★物語の魅力（ダイヤモンドチャート）をショーウィンドウ①に書き込む。
	9	・物語の紹介文をまとめ、交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。	【読】物語のおもしろさについて、考えを深めている。	★物語の紹介文をショーウィンドウ①に書き込む。
	10	・読書月間で読んだ本の中から、友達に紹介したい話を選び、「おもしろさのひみつ」についてまとめ、ショーウィンドウ②を仕上げる。	【読】作品のおもしろさや表現の工夫を捉え、ショーウィンドウにまとめている。	★おもしろさのひみつをショーウィンドウ②に書き込む。
三	11	・物語のおもしろさについて、ショーウィンドウ②を使って交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。	【関】ショーウィンドウを使い、物語を読んで感じたことを伝え合い、感想を伝え合っている。	★ショーウィンドウ②を紹介したり、友達の紹介を聞いたりする。
	12			

3 児童の実態

今年度4月の北区基礎基本調査（国語）で、本学年の児童は、観点別正答率において、「読むこと」で78.5%（区の平均値－1.9%）だったが、問題の内容別正答率では「物語の内容を読み取る」で88.6%（区の平均値＋0.2%）という結果が出ている。

校内では、4月に国語に関する意識調査の第1回目を行った。本学年の結果は、以下の通りである。

	良くできる	できる	あまりできない	できない	集計
1. 作品や文章を読んで、感想や自分の考えをもつことができますか。	33	21	1	1	1.5
2. 感想や考えを進んで発表することができますか。	24	18	12	2	0.893
3. 友達の考えを聞いて、意見を言ったり、質問したりすることができますか。	23	19	11	3	0.857
4. 話し合いの後、初めとは違う感想や考えをもつことができますか。	39	9	6	2	1.375

（※集計は、「良くできる」を2、「できる」を1、「あまりできない」を-1、「できない」を-2として合計をし、児童数で割ったものである。）

この実態調査より、本学年の児童は、感想や自分の考えをもつことや、話し合いの後、初めとは違う感想や考えをもつことに対する自己評価は高いが、感想や考えを進んで発表することや、友達の考えを聞いて、意見を言ったり、質問したりすることに対する自己評価は低いことが分かった。話し合いにより学習を深めることができると考えている児童は多いが、自分の考えに自信をもてない児童もまだおり、活発な意見交流のためにはまだまだ手立てが必要である。

児童はこれまでに、物語の構成を捉え、場面の展開に即して人物の変化を読み取る学習を行ってきた。本文の言葉を手がかりとして読み、思ったことを表現できるようにはなってきたが、文章を広く見通して描写を捉えるまでには至っていない。そこで、本単元では、優れた叙述に着目して読みを深め、想像を豊かにしながら読む力を高めていくようにする。また、物語を紹介するショーウインドウ作りを行うことにより、優れた叙述について言葉や絵、図表などを用いて自分の考えをまとめるという力も身に付けさせたい。

読みを広げたり、深めたりするために、意見の交流は不可欠である。よって、伝え合う活動を大切にしたい授業展開をし、どの児童も考えを広げたり深めたりできるようにしたい。自分の考えを発表することに対する抵抗感を少なくするためには、発問を工夫したり、小グループでの学習を取り入れたりするなどの支援をすることが必要であると考え。全員がより自信をもって活動できるよう指導する。

4 研究主題に迫るための手立て

(1) 自分の考えをもつための工夫

- ①一人で考える時間を確保し、机間指導して個別に見取ることで、考えに自信をもたせるようにする。
- ②自分の考えをまとめる、少人数で交流をする、さらにクラスでの交流をするという手順をとることで、自分の考えを見直したり、深めたりする機会を繰り返す。
- ③ネームプレートを活用することで、考えを明確にしながらかええ合うようにする。
- ④作品のおもしろさを友達に紹介するために、単元を貫く言語活動として本のショーウインドウ作りを行うことで、何度も作品を読み返し、主体的に思考しながら作品を読む力を高めていく。
- ⑤全文一枚プリントを使用することで、叙述と、全文のつながりを大事にした読みを意識付ける。

(2) 豊かに表現するための工夫

- ①グループや全体で意見交流の場を適切に設けることで、児童が自分の考えとの共通点や相違点に気付き、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ②物語の魅力を言葉や絵、図表などを用いて視覚的に伝えるショーウインドウ作りをすることで、叙述を基に考えたことを筋道立てて表現する活動を積み重ねていく。
- ③単元を貫く言語活動として、2種類のショーウインドウ作りを行うことで、表現力を鍛えていく。
- ④考えを書く場で下書き用と清書用の二枚のシートを用意することで、児童は伝え合いの場を経てよりよい考え・表現につなげ、教師は考えの変容を見取るようにする。
- ⑤伝え合いの場に出される様々な表現を意識的につなげていくことで、児童がよりよい考えや表現を生み出せるようにする。

5 本時の授業の見どころ

図表を用いながらの伝え合い

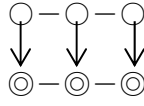
6 本時の指導 (9 / 12時)

授業者 伊藤 桂子 (5-1 28名)

(1) 目標 物語のおもしろさについて、伝え合いを通して考えを深めることができる。

(2) 展開

	学 習 活 動	*指導上の留意点・配慮事項 ◇評価 ★言語活動とのつながり
つかむ 3分	<p>「注文の多い料理店」のおもしろさのひみつにせまるショーウィンドウを作ろう</p> <p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>ショーウィンドウを使って物語の魅力を伝え合おう。</p> <p>2 物語の展開を振り返る。 T: ここまで、おもしろいと感じた表現を見つけながら、物語を読み取ってきました。今日はそれぞれの考えを伝え合って、物語のおもしろさをより深く味わいましょう。</p>	<p>★本時では、ダイヤモンドチャートの部分をショーウィンドウに書き込むことを確認する。</p>
考えをもつ 10分	<p>3 結末の場面を音読する。</p> <p>4 作品の魅力をダイヤモンドチャートで表す。 T: この作品の魅力を三つの観点で伝えます。「構成の工夫」「二人の紳士の心の動き」の他に、この作品の特徴を伝えるための独自の観点をいくつか考えてみましょう。 C: 会話文がおもしろいよ。 C: 戸の言葉のおもしろさを伝えたいな。 C: いろいろな色を表す言葉の使い方を取り上げたい。 C: 山猫軒の不思議さは外せないな。 C: 題名の付け方が凝っているよね。</p> <p>T: 複数考えた中から独自の観点を一つに絞り、チャートの観点を決めましょう。 T: 「注文の多い料理店」の作品としての魅力とその理由をダイヤモンドチャートで表してみましょう。</p>	<p>*物語を通して、どのようなところがおもしろかったかを振り返りながら音読させるようにする。</p> <p>*全文一枚プリントを活用し、前時までの学習で、おもしろいと感じた表現や工夫していると思う表現に、サイドライン（黒）を引かせておく。</p> <p>*机間指導し、一人一人に声をかける。褒める。文を選べない児童に助言する。</p> <p>*○付け法で児童の考えを見取る。</p> <p>*文章の形式だけでなく、視覚的に表現できる方法を取り入れる。</p> <p>★下書き用のワークシート（ダイヤモンドチャート）に書き込みをするよう促す。</p> <p>*本文に立ち返り、サイドラインを引いた叙述やその場面を読み直すよう指示を出す。</p>
伝え合う 25分	<p>5 作品の魅力とその理由について、考えたことをグループで伝え合う。 T: まず、共通する観点について話し合います。「①構成の工夫」「②二人の紳士の心の動き」について、それぞれ自分の考えとそのわけを伝え合いましょう。聞く人は、自分と同じところや違うところに気を付けて聞きましょう。 T: 次に、独自の観点について話し合います。考えとそのわけを伝え合いましょう。 T: 作品の魅力が伝わっているかどうか、書評について助言し合いましょう。</p> <p>6 グループで出てきた観点を整理する。</p>	<p>*伝え合いのグループは3～4人にする。</p> <p>*言葉を根拠に話し合うよう助言する。</p> <p>*聞き手は、自分の意見と比べ、共通点や相違点を考えながら聞くよう促す。</p> <p>*話し合いの場で見つけた良いところを褒める。</p> <p>*友達との読みの相違点や、友達の読みへの疑問点を出し合い、互いの読みを確かめるよう促す。</p> <p>*短冊カードを与え、観点を短い言葉で書くことを伝える。</p>

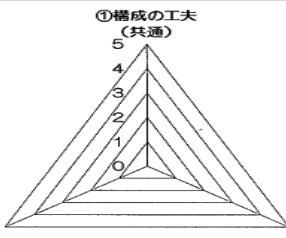
	<p>7 グループでの交流で出された魅力を全体で伝え合い、考えを深める。</p> <p>T: では、全体で伝え合います。</p> <p>C: 私たちのグループで出たこの物語の魅力は、次の二つです。</p> <p>C: 一つ目は、色を表す言葉の使われ方です。わけは、金・水・黄・赤・黒・青・銀など、たくさんの色を表す言葉が出てきて、想像を広げながら読むことができるからです。</p> <p>C: 二つ目は、登場人物の変化です。わけは、物語の初めと終わりを比較すると、変化したところとしていないところがあって奥深いからです。</p> <p>C: この作品は、不思議な世界が描かれているからおもしろいです。</p> <p>私たちの考えは分かってもらえましたか。</p> <p>C: 似ているキーワードの出ているグループはありますか。</p> <p>C: 私たちのグループで出たこの物語の魅力は、次の三つです。</p> <p>C: 一つ目は、二人の紳士の会話文です。わけは、勝手な解釈を続けていることがおもしろいからです。</p> <p>C: 二つ目は、戸の言葉です。わけは、戸の言葉には二重の意味が隠されていて、本当の意味と紳士の解釈の食い違いがおもしろいからです。</p> <p>C: 三つ目は、題名です。わけは、題名の付け方や題名に込められた意味がおもしろいからです。</p> <p>C: この作品は、作者がいろいろな工夫をしているからおもしろいです。</p> <p>私たちの考えは分かってもらえましたか。</p>	<p>*短冊とネームプレートを発表グループ順に黒板に掲示する。</p> <p>*グループで、筋道立てて説明させるようにする。</p> <p>*発表者(複数)は、叙述に基づいて理由を挙げながら考えを話すように促す。</p> <p>*聞き手は、自分の意見と比べ、共通点や相違点を考えながら聞くよう促す。</p> <div data-bbox="949 443 1332 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話し合いの型〈並列型〉</p>  </div> <p>*考えが似ているグループを続けて発表させ、表現方法の違う意見をつなげていく。</p> <p>*短冊とネームプレートを整理してまとめていく。</p> <p>*友達の発表を聞き、よりよい表現について考えるように促す。</p> <p>*本文に立ち返り、想像を広げる場を設ける。</p> <p>◇【読】物語のおもしろさについて、伝え合いを通して考えを広げたり深めたりしている。【発言・作品】</p> <p>A: 話し合いを生かして、物語のおもしろさとその理由を自分の言葉で表現できている。</p> <p>B: 物語のおもしろさは分かるが、筋道立てて表現できない。</p> <p>C: 解決の糸口が見出せない。</p> <p>★下書き用ワークシートを見直し、より作品の魅力が伝わるように、チャートをもとめ、ショーウィンドウを清書するよう促す。</p>
<p>まとめる 7分</p>	<p>8 作品の魅力を伝えるよりよい観点を考えながら、本文を読み直す。</p> <p>9 作品の魅力が伝わるように、ダイヤモンドチャートとその理由をショーウィンドウにまとめる。</p>	

7 板書計画

題名	会話文	戸の工夫	色を表す言葉

(ネームプレート)

①構成の工夫 (共通)



②二人の紳士 (共通)

③ (独白)

★魅力を伝える三観点

単元のめあて
おもしろさのひみつにせまるショーウィンドウを作ろう

本時のめあて
ショーウィンドウを使って物語の魅力を伝え合おう

注文の多い料理店
宮沢 賢治

5 本時の授業の見どころ

つながりを意識した伝え合いの場

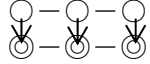
6 本時の指導 (7 / 12 時)

授業者 宮尾 東 (5-2 29名)

(1) 目標 二人の紳士の心情の変化を読み取り、そのおもしろさについて、伝え合いを通して考えを深めることができる。

(2) 展開

	学 習 活 動	*指導上の留意点・配慮事項 ◇評価 ★言語活動とのつながり
つかむ 3分	<p>「注文の多い料理店」のおもしろさのひみつにせまるショーウインドウを作ろう</p> <p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>二人の紳士の心情の変化を読み取り、物語の表現のおもしろさを捉えよう</p> <p>2 物語の展開を振り返る。 T: 「山場」の場面では二人の紳士の気持ちが大きく変わります。その理由を、言葉を根拠に考えましょう。そして、場面のおもしろさを読み味わいましょう。</p>	<p>★本時では、山場のおもしろさを捉え、付箋にメモをし、ショーウインドウ作りにかかしていくことを確認する。</p>
考えをもつ 12分	<p>3 「山場」の場面を微音読する。</p> <p>4 戸に書かれている言葉に対する二人の心情と、山猫側が意図する戸の言葉の本当の意味を読み取り、全体で確認する。 T: 「①戸の言葉を見て、二人の紳士がその言葉をどう受け止めたか」、「②その言葉の本当の意味」について読み取ります。考えたことをワークシートに書いてみましょう。 C: 「いろいろ注文が多くて…」のところは、①あれ、おかしいぞ ②たくさんの注文にいちいち応えてお気の毒でした と読み取れると思うよ。 C: 「いや、わざわざご苦労です。…」のところは、①こわいよ、おそろしいよ ②部屋の中にお入りください・お腹にお入りくださいと読み取れるよね。</p> <p>5 「山場」の場面からおもしろいと思った表現を選ぶ。 T: 今日の場面でおもしろいと感じる表現を選んでみましょう。</p>	<p>*二人の紳士の心情を考えながら、各自微音読させるようにする。</p> <p>*音読が終わったら、二人の紳士の心情が分かる言葉に、できるだけ短く的確にサイドライン(黒)を引くよう指示する。</p> <p>*児童が思考しやすく、自分の言葉で表現しやすいワークシートを用意する。</p> <p>*机間指導し、一人一人に声をかける。褒める。文を選べない児童には助言する。</p> <p>*○付け法で児童の考えを見取る。</p> <p>*戸の言葉を見るたびに発する紳士の言葉などを手掛かりにして、叙述を基に紳士の心情を考えるよう助言する。</p> <p>*全文一枚プリントを活用し、おもしろいと感じる表現を鉛筆で囲むよう指示を出す。</p> <p>★メモ用の付箋(二枚まで)に、おもしろいと思った表現を書き抜くよう促す。</p> <p>*本文に立ち返り、サイドラインを引いた叙述やその場面を読み直すよう指示を出す。</p>
伝え合う 25分	<p>6 読み取った紳士の心情と、山猫の意図を踏まえ、おもしろいと感じる表現についてグループで伝え合う。 T: おもしろいと感じる表現について、それぞれの考えを伝え合います。付箋を活用して、自分の考えとそのわけを伝え合ひましょう。聞く人は、自分と同じところや違うところに気を付けて聞きましょう。</p> <p>7 グループで出てきた意見を整理する。</p>	<p>*伝え合いのグループは3~4人にする。</p> <p>*言葉を根拠に話し合うよう助言する。</p> <p>*聞き手は、自分の意見と比べ、共通点や相違点を考えながら聞くよう促す。</p> <p>*話し合いの場で見つけた良いところを褒める。</p> <p>*友達との読みの相違点や、友達の読みへの疑問点を出し合い、互いの読みを確かめるよう促す。</p> <p>*短冊カードを与え、着目した表現をなるべく短い言葉で書くことを伝える。</p>

	<p>8 おもしろいと感じる表現について全体で伝え合い、考えを深める。</p> <p>T: では、全体で伝え合います。</p> <p>C: 私たちのグループで着目した表現は、次の3つです。</p> <p>C: 1つ目は、「いろいろ注文が多くて…お気の毒でした。」です。わけは、「注文」の言葉にも「お気の毒」の言葉にも、深い意味が込められているからです。</p> <p>C: 2つ目は、「どうもおかしいぜ。」「ぼくもおかしいと思う。」です。わけは、おかしいことに紳士が初めて気付いたからです。</p> <p>C: 3つ目は「その、ぼ、ぼくらが、…うわあ。」「にげ…」です。わけは、紳士の恐怖心が伝わってくるからです。</p> <p>私たちの考えは分かってもらえましたか。</p> <p>C: 同じ表現を選んでいるグループはありますか。(違う表現を選んでいるグループはありますか。)</p> <p>C: 私たちのグループで着目した表現は、次の3つです。</p> <p>C: 1つ目は、「がたがたがたがたふるえだして、…言えませんでした。」です。わけは、紳士の気持ちがとてもよく伝わってくるからです。</p> <p>C: 2つ目は、「さあさあ、おなかにお入りください。」です。わけは、この言葉に「部屋の中」と「お腹」の両方の意味がかけられているからです。</p> <p>C: 3つ目は、「だめだよ。もう気が付いたよ。」です。わけは、戸の中から聞こえる会話だからです。</p> <p>私たちの考えは分かってもらえましたか。</p>	<p>*短冊とネームプレートを発表グループ順に黒板に掲示する。</p> <p>*グループで筋道立てて説明させるようにする。</p> <p>*発表者(複数)は、叙述に基づいて理由を挙げながら考えを話すように促す。</p> <p>*聞き手は、自分の意見と比べ、共通点や相違点を考えながら聞くよう促す。</p> <div data-bbox="938 409 1321 524" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>話し合いの型〈並列型〉</p>  </div> <p>*考えが似ているグループを続けて発表させ、表現方法の違う意見をつなげていく。</p> <p>*短冊とネームプレートを整理してまとめていく。</p> <p>*友達の発表を聞き、よりよい表現について考えるように促す。</p> <p>*友達の発表を聞き、考えが変わったらネームプレートを貼りかえても良いことを伝える。</p> <p>*本文に立ち返り、想像を広げる場を設ける。</p> <p>◇【読】二人の紳士の心情の変化を読み取り、そのおもしろさについて、伝え合いを通して考えを広げたり深めたりしている。</p> <p style="text-align: right;">【発言・作品】</p> <p>A: 話し合いを生かして、自分がおもしろいと思った表現を選び、その理由を自分の言葉で表現できている。</p> <p>B: おもしろいと思う表現に注目しているが、筋道立てて表現ができない。</p> <p>C: 解決の糸口が見出せない。</p>
<p>まとめる5分</p>	<p>9 山場での二人の紳士の心情の変化を捉える。</p> <p>T: 皆さんが出してくれた短冊を基に山場の場面をもう一度読み返してみよう。</p> <p>10 山場の場面のおもしろさが分かる表現について、ショーウインドウにまとめる。</p>	<p>*物語の叙述に即して二人の紳士の心情の変化を捉えさせる。</p> <p>★メモ用の付箋を見直し、おもしろいと思った表現を再度選び、ショーウインドウに残す。</p>

7 板書計画

